

## 消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

## 【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	消火活動時のホース延長不備事例
3. 体験した事例の中心的要素	建物火災の消火活動時、延長されたホースに著しい屈曲があったため通水に際してホースが急激に伸展し、近くに架梯してあった二つ折り梯子に当たって梯子が倒れそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	ホース延長の不備、ポンプからの急激な送水。

## 【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

## 【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 20 年 4 月 20 日 午後 7 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：建物に面した道路
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	火災、現場活動初期 [ 木造建物 ]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	進入
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[ 27 ]歳、勤続年数[ 4 ]年、現場経験年数[ 3 ]年、階級[ 消防士 ]、同様の活動 [ 1年に数度 ]、任務 [ 隊員 ]
○当事者B	年齢[ 46 ]歳、勤続年数[ 24 ]年、現場経験年数[ 22 ]年、階級[ 消防士長 ]、同様の活動 [ 1年に数度 ]、任務 [ 車長 ]
○当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者B	二つ折り梯子を上り、2階へ進入して放水するよう隊員に指示。	
経過2	当事者B	二つ折り梯子を表側から確保した。	
経過3	当事者A	道路から放水中、梯子で2階へ進入し、放水するよう指示を受けた。	
経過4	当事者A	二つ折り梯子を上り、梯上から放水した。	
経過5	屈曲していたホース	二つ折り梯子の下を通っていたが、通水はしていなかった。	
経過6	屈曲していたホース	急激な放水により、折れ曲がっていた部分が空気圧で暴れ、梯子の下部に当たった。	
経過7	二つ折り梯子	急激に伸展したホースが当たったことにより、倒れかけた。	
経過8	当事者A	梯子が揺れ、転落しそうになった。	
経過9	当事者B	倒れそうになった梯子を必死で支えた。	
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。危険事象の対応方法を知っていた。後方からの監視の目が行き届いていた。その他：基本に忠実に、梯子を確保していた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	はい

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ



c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ
-----

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

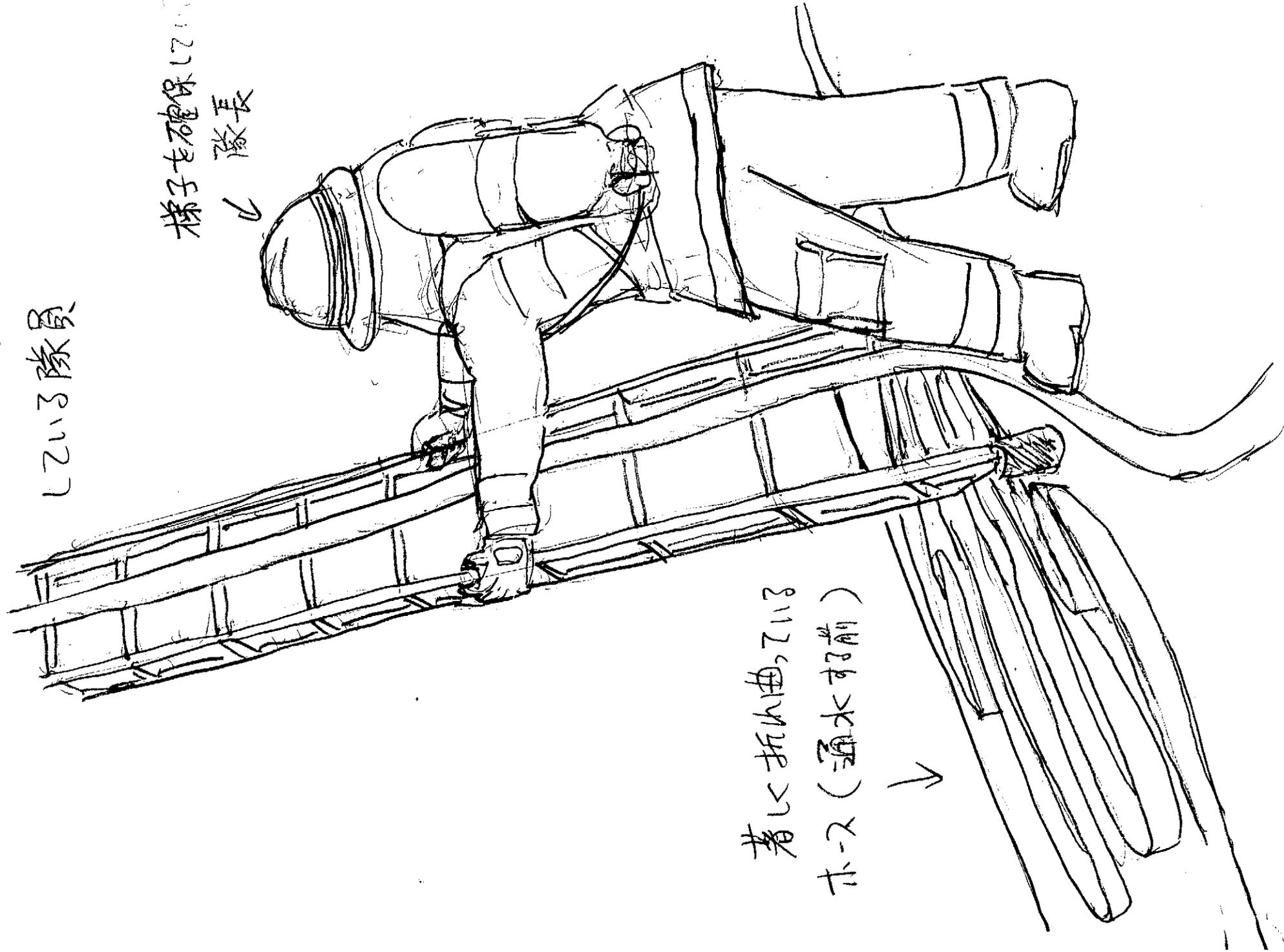
○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

ク ニツ折り梯子の上で放水

している隊員

梯子を確保している  
↓ 隊長



著しく折れ曲っている  
ホース（通水すば前）



・発生日時：平成20年4月20日 午後7時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B(車長)	備考
		隊員／消防士 ・年齢 27 歳 ・勤続 4 年 ・現場 3 年 ・同様の活動：1年に数度	車長／消防士長 ・年齢 46 歳 ・勤続 24 年 ・現場 22 年 ・同様の活動：1年に数度	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         出動指令                     </div>			火災出動
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         建物に面した道路                     </div>	現場到着		
		二つ折り梯子を上り、2階へ進入して放水するよう隊員に指示。		
		二つ折り梯子を表側から確保した。		
	延長されたホースに著しい屈曲があり、二つ折り梯子の下を通っていたが、通水はしていなかった。	道路から放水中、梯子で2階へ進入し、放水するよう指示を受けた。		
		二つ折り梯子を上り、梯上から放水した。		
	通水に際してホースが急激に伸展した。	通水に際してホースが急激に伸展した。		
	急激な放水により、折れ曲がっていた部分が空気圧で暴れ、梯子の下部に当たった。	急激な放水により、折れ曲がっていた部分が空気圧で暴れ、梯子の下部に当たった。		
	急激に伸展したホースが当たったことにより、倒れかけた。	急激に伸展したホースが当たったことにより、倒れかけた。		
		梯子が揺れ、転落しそうになった。		
		倒れそうになった梯子を必死で支えた。		

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因：状況判断に問題があった。
- ・体力、反射神経等身体能力が優れていた。
- ・危険事象の対応方法を知っていた。
- ・後方からの監視の目が行き届いていた。
- ・基本に忠実に、梯子を確保していた。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
  - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
  - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。
  - ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
  - ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
  - ・活動に対する経験が不足していた。
- (装備・資機材について)
- ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。
- (活動環境について)
- ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。
  - ・野次馬が多かった。